



図書館だより



6月の行事予定

☆おはなし会

- 6/6(土)10:30～ ぶーさんの会
 - 6/24(水)11:00～ あかちゃんと絵本の森
 - 6/27(土)10:30～ トロのおはなし会
- ※たんぼぼ・紙芝居劇団「ことり」は、お休みです。

6月

	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

■ 休館日

7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

もっとおトクで
楽しい

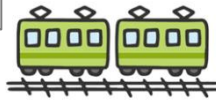
三次発!鉄道旅のススメ!

パート3

- 日時 : 7月5日(日)10:00~11:30
場所 : 三次市民ホールきりり サロンホール
講師 : 一般社団法人 三次観光推進機構(みよしDMO) 名越 陽介さん
- 定員 : 50名 ※申込先着順
資料代 : 500円(当日お支払い)
対象 : どなたでも



←申込みフォーム
はこちら



三次発の鉄道プランをご紹介します!
お得切符や乗り方を知っていると、旅をもっと楽しめますよ♪

中高生のみなさん必見!

YAコーナーがリニューアル!

若者向けの特集展示をはじめました!
現在は「映像化した本」を展示中 ✨



←場所の目印は
写真の看板!

夏休み期間にはイベントも計画しているのでお楽しみに!

6月

中央館の展示紹介



鶺鴒写真展

三次の夏の風物詩・鶺鴒の
写真展をおこなっています。

今年も、見て、乗って
楽しんでください。

期間 : 開催中~7月1日(水)まで

図書館で
まってるよ!



ぶっくら

ホラー小説特集

暑い時には、ホラー小説を読んで
ゾクッとしよう!

選りすぐりの怖い話を集めました。

『リング』鈴木 光司/著

『凶宅』三津田 信三/著

『祝山』加門 七海/著



図書館からのお願い

梅雨の季節になりました。本が水に濡れるとふやけやシミに繋がります。
雨の日は、袋に入れるなどして本が濡れないようご注意ください。

水ぬれ注意!

新着資料の紹介

【新着★郷土資料】

○ダンバー詩集 近澤 有孝/訳

【三次市出身作家の著書】

○警視庁の忍者 佐々木 裕一/著(B 913.6 㜱) ○花に嵐 佐々木 裕一/著(B 913.6 㜱 2)

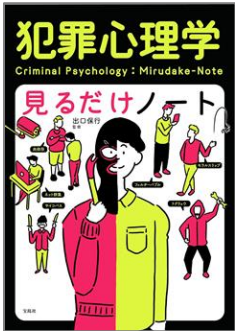
「この世の花」シリーズ



◆一般◆

犯罪心理学見るだけノート

出口 保行/監修
宝島社(326.3 ㄱ)



犯罪者に対して「悪人」のレッテルを貼るのは簡単ですが、その背景まで探るのが犯罪心理学です。私たちの生活に身近な学問を手軽に学んでみませんか？防犯にもつながりますよ。

タイトル	内容
スマホで100倍楽しくなる! 50歳からの押し活入門	スマートフォン
スヌーピー僕は僕が大好き	人生訓
すごいビジネスホテル図鑑	旅館
全国の猫神様をめぐる	民間信仰
ド文系でも楽しい数学	数学
春雨だから罪悪感なく食べられるレシピ50	麺類
教養として知っておきたいラジオの世界	ラジオ放送
将棋AIのゆくえ	将棋
眠れぬおまえに遠くの夜を 桐野 夏生/著	小説
燻る骨の香り 千早 茜/著	小説

◆児童◆

タイトル	内容
マダガスカル島へ	マダガスカル
法律のしごとはおもしろい!	法律家
新ざんねんないきもの事典	動物
隕石のひみつ	隕石
空港のひみつ	空港
しょくどう はらぺこめがね/作	えほん
いいえいえです tupera tupera/さく	えほん
とどけ!ニモツくん ミノオカ リョウスケ/作・絵	えほん
かなしきデブ猫ちゃん 広島編 早見 和真/文, かのう かりん/絵	ものがたり
魔笛 シカネーダー/著, 那須田 淳/文, 十々夜/絵	ものがたり

まゆとごちそう春夏秋冬

富安 陽子/作, 降矢 奈々/画
福音館書店(J 913 ㄱ)

山姥母さんがつくる季節ごとの料理が登場する物語と、そのレシピが紹介されています。どれもおいしそうで再現したくなりました。同じシリーズの絵本も一緒に読んでみてください。



図書館職員「私のおすすめ本」

やる気に頼らず「すぐやる人」になる 37のコツ

大平 信孝/著, かんき出版(159 㜱)



やるべきことをつい先延ばしにしてしまう…。そんな悩みを持っている方はぜひ、この本を読んでみてください。「試みに10秒だけ動いてみる」など、行動に移すハードルをぐっと下げるコツがたくさんありますよ。

紹介者:新見



13歳からの考古学 なんで古墳を造ったの? 神の時間と人の時間をめぐる旅

河野 一隆/著, ミヤタ ジロウ/画(J 210 㜱)



なぜ昔の人はこんなに大きいものを造ったのか? 歴史研究部の中学生3人は、考古学の学会で発表するために古墳を巡り、考えます。著者の河野先生が研究されている内容を物語で優しく解説した、入門にぴったりの1冊です。

紹介者:石川

